

2024 年 1 月 22 日

報道関係者各位

## 小田原市高田浄水場再整備事業 設計建設業務 起工式に参列

水ing株式会社のグループ会社である水ingエンジニアリング株式会社（社長：池口学、本社：東京都港区）は1月16日、神奈川県小田原市内の高田浄水場内で行われた「高田浄水場再整備事業 設計建設業務起工式」に参列しました。

### 【高田浄水場再整備事業について】（小田原市 HP 参照）

高田浄水場は、小田原市水道事業が供給する水道水のうち、約86%を浄水処理している基幹施設です。

1969（昭和44）年の供用開始から、高度経済成長期の人口増加に対応するなど、市民生活や地域経済の発展に寄与してきました。

供用開始から50年以上が経過し、近年築造した一部施設を除くほぼ全ての施設において、求められる耐震基準が満たされていません。また、節水機器の普及などから水需要は減少しており、施設の1日の浄水能力80,000m<sup>3</sup>/日に対して2020（令和2）年度の浄水実績は1日最大約59,000m<sup>3</sup>/日で、今後もその差がさらに大きくなると想定されます。

本事業は、耐震化の早期実現、将来の水需要に対応した施設規模の適正化を目的として、新たな浄水処理方式（膜ろ過方式）を採用し、設計・施工・運転維持管理を一括して発注するDBO（Design Build Operate）方式により実施します。

### 【当日の様子】

起工式の当日は、小田原市守屋輝彦市長、小田原市西浦真生上下水道局長、小田原市議会大川裕議長、株式会社安藤・間木下真執行役員東京支店長、株式会社東京設計事務所狩谷薫代表取締役社長をはじめ、地元業者の代表者も含め関係者およそ30名が参列し、神事で工期間の安全、無事完成を祈願しました。

### 【水ingグループならではの装置も採用】

本事業では、当社グループが開発した技術浸漬式膜ろ過装置『L-CUBE(エルキューブ<sup>®</sup>)』が採用されています（別紙参照）。



鍬入之儀を行う水ingエンジニアリング池口社長



晴天の空の下小田原市守屋市長（下段中央）と参加者で集合写真

水ingグループは、今後も地域の水インフラ持続に貢献するため、安全・安心な工事を実施してまいります。

問合せ先 水ing広報部 (Tel: 03-4346-0612 E-mail: pr.news@swing-w.com)